

宇都宮の

民間信仰



宇都宮市教育委員会

文化財シリーズ第 13 号

宇都宮の
民間信仰

平成 5 年

宇都宮市教育委員会

序 文

今回、文化財シリーズ第13号として発行いたしますものは、私たちの地域に永年にわたって伝えられてきた信仰に関する事柄を扱った「宇都宮の民間信仰」です。

これまで民俗資料を扱った文化財シリーズとしましては、「宇都宮の民家と家並み」（第2号）、「宇都宮の手仕事」（第3号）、「宇都宮の祭りと芸能」（第7号）、「宇都宮の絵馬」（第9号）などがありましたが、今回のテーマはこれらとはやや様相を異にし、より人々の心意と深く係わっている分野と言えます。

昔から人々は、暮らしの中で様々なものを信仰の対象にしてきました。神社仏閣はもとより、村々の堂宇・小祠、道端の石仏・塚、さらには森・山・川などの自然そのものと、その対象はありとあらゆるものに求められてきました。また、その形態や手法も、地域をこえた普遍的なものから、より特定の地域・集団あるいは個人的なものと同様です。しかしいずれにしても、これらの民間信仰は、人々の永い歴史と経験によって育まれた、より良い暮らしへの祈りや願いを込めたものであり、現代生活にも深く息づいているものと言えます。

今回の調査では、宇都宮市においても、各地域において多種多様な民間信仰が伝承されていることがわかりました。ここでは特に、昔から広く人々に信仰されてきたものを中心に掲載することとしますが、本市固有の歴史と風土の中で培われてきた民間信仰について、改めて見直し、郷土理解の一助にさせていただければ幸いに思います。

最後になりましたが、今回の調査及び本冊子の刊行にあたり、ご協力いただきました宇都宮市文化財調査員の方々、また調査の際にお世話になりました多くの皆様に、心から感謝の意を表します。

平成5年3月

宇都宮市教育委員会

教育長 藤田昌平

目 次

・序 文

・まえがき

I 『宇都宮の民間信仰』の調査について

1 目 的	1
2 調査方法	1
3 調査対象	2
4 調査結果	2

II 宇都宮の民間信仰

1 病気治癒に関するもの	
(1) 眼病に関するもの	3
(2) 流行病に関するもの	7
(3) その他の病に関するもの	8
2 生業に関するもの	
(1) 五穀豊穰に関するもの	12
(2) 雨乞いに関するもの	15
(3) 嵐・雷除けに関するもの	17
(4) その他の生業に関するもの	18
3 安産・子育てに関するもの	19
4 祈願に関するもの	
(1) 防火に関するもの	26
(2) 学業に関するもの	27
(3) その他の祈願に関するもの	29

III 参考資料

- ・ 宇都宮の民間信仰調査一覧
- ・ 宇都宮の民間信仰所在地図

・あとながき

まえがき

本冊子は、平成元年に宇都宮市教育委員会が、市文化財保護審議委員会の答申を受け、市文化財調査員活動の一環として実施した「民間信仰調査（課題別一斉調査）」の結果をもとにまとめたものです。

同調査は、平成元～2年度の2カ年間にわたり、市内全域を対象に実施され、全部で164件が報告されました。本冊子はこれに事務局職員が調査したものを加え、57件に整理して掲載いたしました。

本冊子は、厳密な民間信仰調査の報告書ではありません。市民の方々に、郷土に伝わる民間信仰のおおまかな姿を理解していただくことを第一の目的に編集したものです。

なお、この「民間信仰調査」は以下の組織体制で実施いたしました。また、現地調査において多くの方々のご協力をいただきました。また、特に栃木県立博物館の柏村祐司氏（本市文化財保護審議委員）からは、調査から編集全般にわたってご指導をいただきました。心からお礼申し上げます。

○ 宇都宮市文化財保護審議委員会委員

雨宮義人(委員長)	岩崎良能(副委員長)	大金宣亮(委員)
小林幹夫(委員)	戸田博恒(委員)	富祐次(委員)
橋本澄朗(委員)	埴静夫(委員)	森谷憲(委員)
渡辺安友(委員)	柏村祐司(委員)	

○ 宇都宮市文化財調査員

河合芳幸(一条)	塚田宗雄(陽北)	酒井光一(旭)
絵面昭男(陽南)	石川秀男(陽西)	高藤常松(星が丘)
松本文一郎(陽東)	小林哲夫(泉が丘)	糸川弘明(宮の原)
菊池正仁(平石)	坂本恒一郎(清原)	石川純雄(横川)
坂寄悦男(瑞穂野)	平塚良雄(豊郷)	小塚博(国本)
高山伝治(城山)	福田操(富屋)	阿久津義正(篠井)
松本笑悦(姿川)	小島豪市郎(雀宮)	※()は担当地区

○ 宇都宮市教育委員会文化課職員

河越昌司(文化課長)	定岡明義(文化財保護係長)	手塚英明(指導主事)
梁木誠(指導主事)	大塚雅之(指導主事)	神野安伸(指導主事)
今平利幸(指導主事)	白井義雄(指導主事)	小松俊雄(指導主事)

I 『宇都宮の民間信仰』の調査について

本冊子は、宇都宮市文化財調査員活動の一環として実施した「平成元年度課題別一斉調査—宇都宮の民間信仰—」及び「平成2年度課題別一斉調査—宇都宮の民間信仰（第2次調査）—」の結果をもとにまとめたものです。

1 目的

民間信仰は、町や村といった地域社会の中で、平凡な日常生活を送る多くの民衆によって培われ、育てられてきた信仰です。しかし、近年、地域社会を取り巻く環境は大きく変わり、民間信仰のあり方や存続そのものにも少なからず影響を与えています。

そこで今回の調査は、宇都宮の民間信仰の実態を把握するとともに、今後の保存・継承活動等に役立てることを目的として実施しました。

2 調査対象

『民間信仰』の調査対象は、以下の基準を設けて行ないました。

- ・神社、寺院あるいは道端に関係あるもので、地域の信仰の対象になっているもの。
- ・個人所有物でも、昔から広く人々に信仰されているもの。

なお、以下のものは、今回の調査対象からはずした。

- ・個人あるいは一軒のみが信仰している仏像、氏神、小祠など。
- ・個人の家の中にあるお札や様々な神。
- ・特定信仰でなく、あらゆる願いを叶えてくれるという神社、寺院、堂宇。
- ・特定の教義を前面に出している宗教団体やその信仰物。

平成2年度調査票（民間信仰）		No. <input type="text"/>	
調査日		平成 年 月 日 ()	
調査地	調査者		
調査場所	宇都宮市	町	丁目
所有者 おまじり 管理	住所	宇都宮市	
	氏名	電話 ()	
名称			
信仰の内容 (霊験や効 能等)			
信仰の方法 (お札や奉 納物等)			
信仰の範囲 (地域的止 まりや個人 所有の範囲)			
祭の日及び その方法			
由緒沿革 及び伝説等 その他			
調査地略図		写真及び見取り図等	

『宇都宮の民間信仰』調査票

3 調査方法

(1) 調査

調査は直接現地に赴き、原則として聞き取り調査を中心とし、併せて写真撮影やスケッチ、見取り図作成、計測等を実施しました。また、最終的には項目ごとに調査票（前頁参照）にまとめました。

(2) 調査地区

調査地区は宇都宮市全域としましたが、各調査員は原則として、担当地区（全20地区）内の調査を実施しました。

4 調査結果

調査員からは150件を超える調査報告書（調査票）が提出されました。これらは信仰の対象や在り方から、病気治癒に関するもの、生業に関するもの、様々な祈願に関するもの、安産・子育てに関するもの及びその他に分類することができました。その大要をまとめたものが下表ですが、本冊子では、これらのうちから代表的なものを選定して報告することとします。なお、各調査項目については巻末に一覧表として掲載しました。

記載については、以下のような点を配慮いたしましたので、ご了承願います。

- ・掲載物件の選定にあたっては、信仰が継続しているもの、地域を代表しているもの、特色が豊かなものなどを基準にした。
- ・名称、呼称等については、できるだけ地元の呼び方に従うことを原則とした。

分類	調査件数	主な内訳 ()は件数
1 病気治癒に関するもの	49件	眼病(17), 流行病(8), アザ・イボ(3), 厄除け(4), 百日咳(3), 婦人病(3)など
2 生業に関するもの	43件	五穀豊穰(18), 雨乞い(9), 嵐・雷除け(6), 家畜(4), 商売繁盛(4)など
3 安産・子育てに関するもの	32件	安産・子育て(25), 子授け(3), 母乳(2)など
4 祈願に関するもの	40件	防火(7), 学業(6), 往生(2), 縁結び(2), 霊山, 弘法大師, 日蓮信仰, 祖先信仰, 修験信仰, 水難など
合計	164件	

Ⅱ 宇都宮の民間信仰

ここでは、前章で示した4つの分類（病気治癒に関するもの、生業に関するもの、様々な祈願に関するもの、安産・子育てに関するもの）に従い、それぞれの項目を代表するものについて紹介することとします。

なお、神社や堂宇によっては信仰対象が一つではなく、様々な願い事を受け入れているものも多く見られます。このような場合は、より中心的と思われる信仰対象によって分類してあります。

1 病気治癒に関するもの

今回の調査で最も多かった信仰対象はこの病気治癒に関するもので、調査件数全体の約1/3を占めています。このうち具体的な病気としては眼病に関するものが最も多く、次いで流行病、アザ・イボ、百日咳、婦人病などがあげられます。なお他に、あらゆる病を対象としたものも一定数認められます。

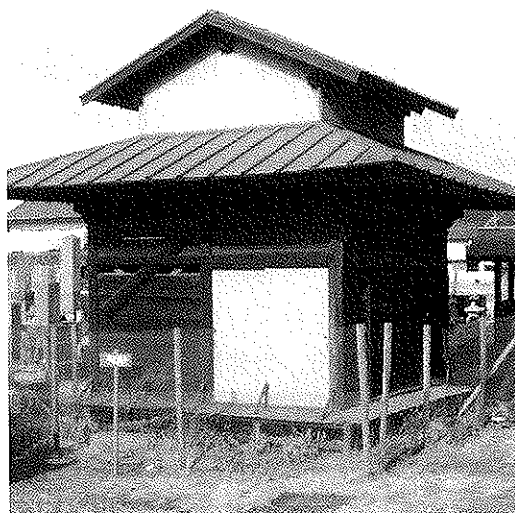
(1) 眼病に関するもの

○薬師堂（徳次郎町下町：A-2）

下徳次郎にあるこの薬師堂は、古くから「下町薬師堂」あるいは「薬師様」などと呼ばれ、地域の人々に親しまれています。

目の病を治すのに霊験があると言われ、毎年花祭り（旧暦4月8日）の祭には、河べりから採ってきた甘茶の花に水をつけて目を洗うのが良いとされています。

江戸時代の頃には、眼病治癒のために各地からお参りにきたと伝えられています。現在は主に徳次郎町の下町・中町の人々に信仰されています。



徳次郎町の薬師堂

○薬師堂（新里町久部：A-3）

新里町久部にあるこの薬師堂は、眼病治療に効果があることでよく知られています。

お釈迦様のお祭り（旧暦4月8日）の祭には、供物や花とともに「め」と書いた小さな絵馬を奉納し、眼病治療を祈願するとされています。昔は信仰している人々がお堂に集まり、酒を酌み交わしながら一夜を明かしたと伝えられています。

なお、同じ国本地区の宝木本町仁良塚にある薬師堂（A-4）も、眼病治療に効果のあるお堂として知られています。



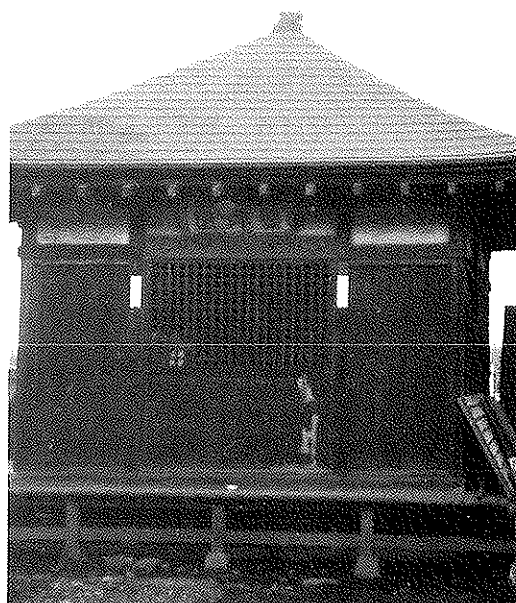
新里町の薬師堂

○薬師堂（下川俣町：A-5）

下川俣町の光性寺内にあるこの薬師堂は、眼病治療に効果があることで知られています。

かつては、毎年8月24日の夜に信者が集まって念仏を唱えるのが慣わしで、露天商が立つほどであったと伝えられています。また、戦前までは「め」と書いた絵馬が奉納されることもあったとされています。信者は下川俣町、岩曾町、竹林町など、主に豊郷地区南部を中心に広がっていたようです。

なお、光性寺の山号「医王山」は、この薬師堂の眼病治療祈願からきたものだとされています。



下川俣町の薬師堂

○めの神（駒生町字西原：A－8）

駒生町大杉神社の参堂付近の路傍には、「めの神」と呼ばれる高さ80cmほどの石碑があります。

古くから眼病に効く神様として知られ、「め」という文字を半紙に二つ書いて石碑に貼り付けて平癒を祈願したと伝えられています。かつては地元の人々を中心に熱心に信仰されていたと言われます。

なお、同じ駒生町の中丸地内には、やはり「めの神」（A－9）と呼ばれる石の祠が残されています。



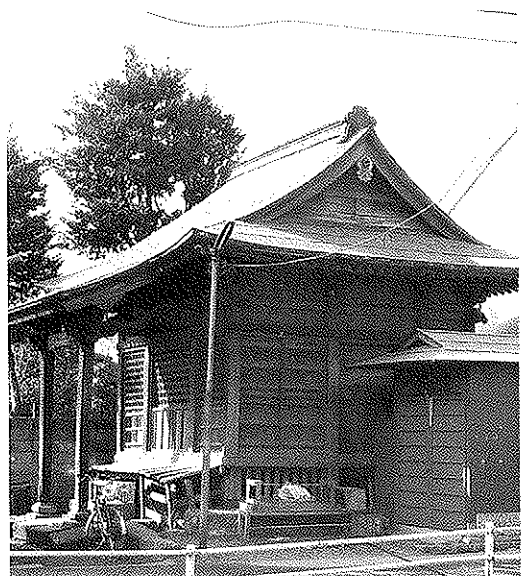
「めの神」石碑

○薬師堂（材木町：A－12）

材木町安養寺の北側にあったこのお堂は、きれいな朱塗りであったことから「丹ん堂」（あかんどう）と呼び親しまれてきました。

このお堂は、宇都宮城主奥平忠昌が屋敷の鬼門除けとして建てたものとされ、宇都宮では最も古いお堂の一つとされています。江戸時代には、眼の守り神として厚く信仰され、地方からも多くの参拝者があったと言われています。また当時は、毎年4月8日に祭りが催され、お堂には「め」「左右」などの絵馬や髪の毛が奉納されたとされます。

なお現在このお堂は、道路拡張によりに移築されています。



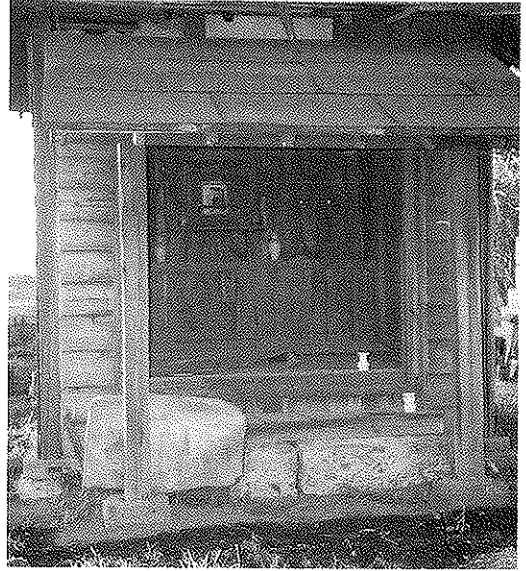
材木町の薬師堂（あかんどう）

○薬師堂（針ヶ谷町：A-13）

針ヶ谷町南端の共同墓地内にあるこのお堂は、眼病にご利益があるということで、古くから信仰されていました。

かつては、旧暦4月8日の花祭りが盛大に行なわれ、その時甘茶をかけた水で目を洗うと眼病に効くと言われていました。また、この時は針ヶ谷町の人々がお堂に集まって念仏を唱え、絵馬などを奉納したとされています。

なお、古老の話によると、このお堂は江戸時代の終り頃に一度焼失し、その後再建されたものとされている。



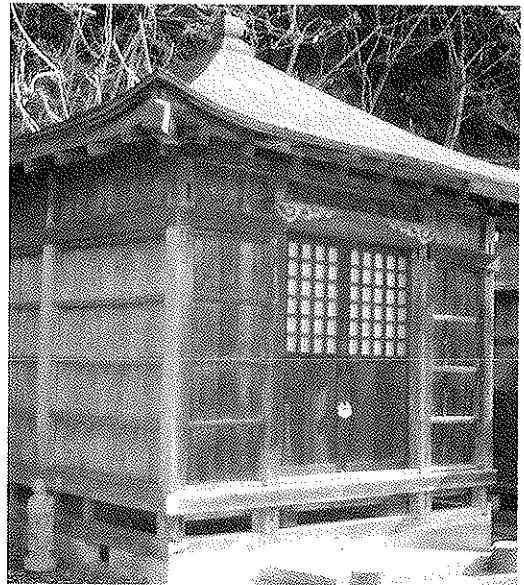
針ヶ谷町の薬師堂

○薬師堂（満美穴町：A-17）

満美穴町公民館の東方に、十九夜様と並んで立っているこのお堂は、眼の神様として地元の人々に信仰されています。

このお堂は、かつて町内の人々が寄附を集めて建てたものとされ、特に眼病に良く効くと言い伝えられています。縁日には、各家でつくった変わりもの（ご馳走）をお供えすることになっているとされます。

なお、同じ清原地区の鑑山町内には、「成田不動様」（A-16）も、眼病によく効くと言われています。



満美穴町の薬師堂

(2) 流行病に関するもの

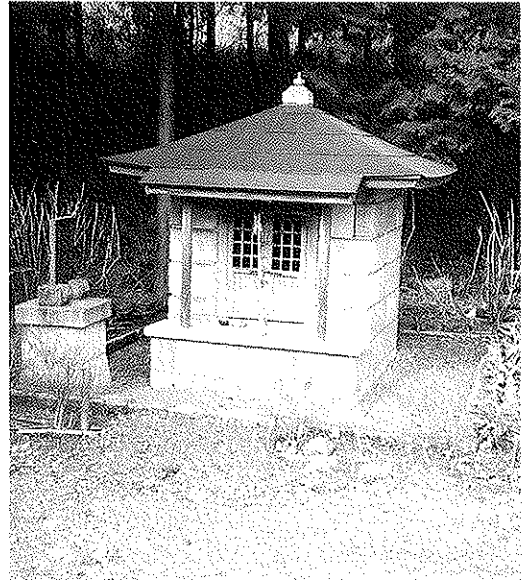
○橋くぐり地蔵尊（新里町：A-18）

新里町栗谷沢ダムの入口に小さな地藏堂があります。このお堂の本尊は、地元の人々から「橋くぐり地蔵尊」と呼ばれ、はしかをなおす地蔵尊として古くから信仰されています。

この地蔵尊は「はしか地蔵」とも呼ばれ、はしかにかかった子どもが、お堂の横にある橋をくぐり、石を拾ってお参りするとなおるとされています。

かつては、はしかが流行すると、このお堂でお札が売られたこともあったようです。

お祭りは春と秋の2回行われ、講中により念仏が唱えられます。



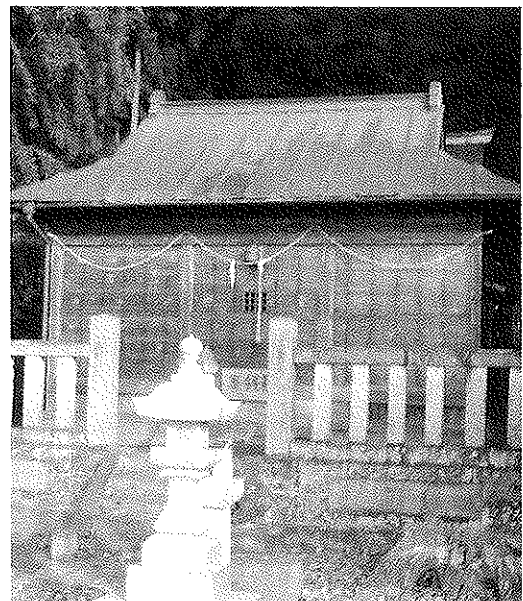
橋くぐり地蔵堂

○お勝天王（下欠町：A-22）

下欠町南坪にある星の宮神社は、別名「お勝天王」と呼ばれ、チフスや赤痢などの流行病に効能があるとして信仰されています。

その昔、お勝という村の女性が流行病にかかり、亡くなる時に流行病をなおしてやると遺言したそうです。そこで、人々はお勝の霊を星の宮神社に祀ったと伝えられています。

下欠地区内の信仰のようであり、特別な奉納物もないようです。



下欠町の星の宮神社

○八日市場不動尊（駅前通り：A-24）

田川左岸の八日市場通りにあるこの不動尊は、疫病に靈験があることで知られています。

毎年1月28日の縁日には、善願寺住職が護摩を奉納し、町民に護摩札が配られます。その昔、護摩を奉納しなかった年に町内に疫病が大流行したそうです。人々は、お不動様のたたりだと思い、それ以来毎年かかさず護摩を奉納をするようになったと伝えられています。

縁日には、八日市場町内の住民が多数集まります。



八日市場不動尊

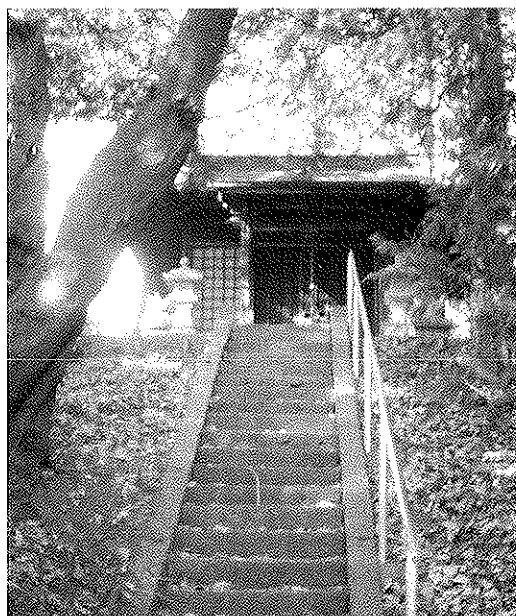
(3) その他の病に関するもの

○三日月神社（石井町：A-28）

石井町の久部街道沿いにあるこの神社は、いぼ・あざ取りに靈験があることで古くから信仰されています。

毎年旧暦の1月3日と3月3日が縁日で、赤白の木綿布に願い事を書いたり、神社の庭の土を患部に付けたり、鳥居に小石を上げたりして、いぼ・あざ取りを祈願します。縁日には石井地区はもとより、近郷近在からもお参りにくると言われます。

なお、この神社の由緒・沿革等は定かではありませんが、小高く盛られた古墳の上に鎮座しています。



三日月神社

○一萬灯会（宮島町：A-30）

宮島町能延寺の千手観音で行われる一萬灯会は、とうもろこしを使った厄除けとして知られています。

旧来は8月9日が縁日で、夜になると参詣人が萬灯を点して護摩修行を行い、とうもろこしの種をもぎとることによって厄を取り除いたと言われます。

戦前、この一萬灯会は宮の夏の風物詩で、参道・境内はとうもろこし店で一杯になったと言われます。なお、とうもろこしは家に持ち帰り、戸口にさげて厄除けとしました。



千手観音堂

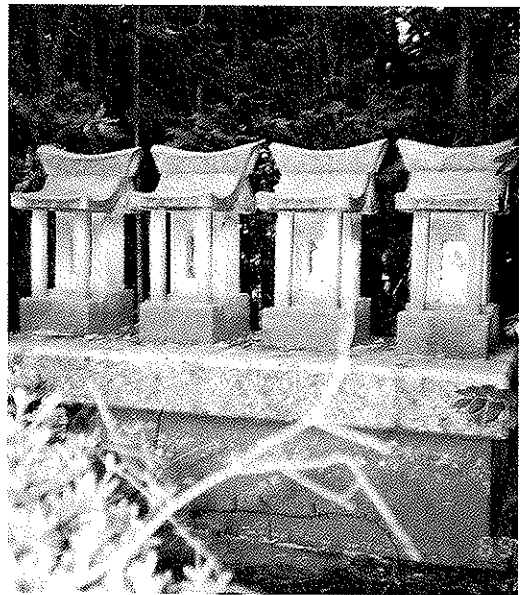
○にわとり権現様（駒生町：A-35）

駒生町中丸の下屋敷には、「でいのにわとり権現様」と呼ばれる祠があり、百日咳に靈験があるとされています。

この祠の由緒は定かではありませんが、江戸時代この辺りに宇都宮城主の御台邸があり、その御台（でい）が百日咳に苦しむ領民の子どもたちを案じて建てたものと伝えられています。

縁日は特にありませんが、百日咳の平癒を祈願するときは、一升の米で卵の形の団子を12個作り、お供えすることになっています。

駒生地区以外の人々からも広く信仰されていたようです。



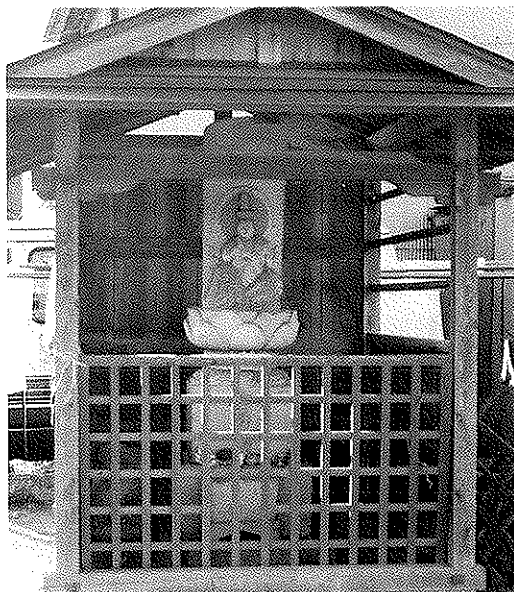
にわとり権現様

○十九夜観音堂（鶴田町：A-38）

鶴田町中原の榎木街道沿いにあるこの観音堂は、古くから女性の下の病に効能があるということで信仰されています。

毎年旧暦の10月19日が祭日で、当番の家が餅をつき、それぞれの家で作った煮しめ・甘酒・赤飯などを持ち寄ってお供えすることになっています。

現在は中原地区の農家10件ほどが輪番で当番をつとめ、祭りを継続しています。



鶴田町の十九夜観音堂

○初音観音（泉町：A-41）

泉町の名刹延命院には、頭の病なら医者に見放したものも治すと信奉されている「靈験初音の墓」があります。

初音は、実名を大内トメと言い、家族の犠牲となって子供のうちから芸者として働き、疲労が重なり頭の病で18歳の若さで亡くなりました。初音は自分のような身の上のものが二度と出ないようにと願いながら息を引き取ったと言われ、それ以来、彼女は観音様の権化として信仰を集めたと伝えられています。

なお、初音の墓に詣でる時には、梅を供えると一層効果があると言われています。



靈験初音の墓

○足尾権現（田下町：A-42）

お不動様で有名な多気山持宝院にあるこの権現は、足痛・腰痛に霊験ある神様として広く信仰されています。

祭日は2月8日と9月8日で、足・腰・膝等の痛みで悩んでいる人々が、自分の履物（くつやぞうり）に名前を書いて奉納祈願します。参拝者はお年寄りを中心ですが、運動をしている若い人の姿もみられるということです。

なお、この権現は、明治のはじめ頃、茨城県筑波山の北にある足尾山から分霊されたものと伝えられています。



足尾権現（多気山持宝院）

○おびんずるさん（小幡町：A-48）

通称清住通り、旧日光街道沿いの宝勝寺には、「おびんずるさん」と呼ばれる木造仏があり、万病に効能がある仏様として信仰されています。

おびんずるとは賓頭盧頗羅墮（ビンズルハラダ）のことで、十六羅漢のひとつです。この宝勝寺のおびんずるさんは、自分の体の悪い場所と同じところを触るだけで、病気が平癒するとされています。

特に縁日・祭日等は決められていませんが、話を聞きつけて県内各地からお参りにきています。



おびんずるさん（宝勝寺）

2 生業に関するもの

この生業に関する民間信仰は、前項の病氣治癒に関するものに次いで多いもので、調査件数全体の1/4を超えていました。具体的には五穀豊穡に関するものが全体の4割と最も多く、次いで雨乞い、嵐・雷除け、家畜などが続いていました。商売繁盛に関するものも一定数ありましたが、基本的には農業に係わるものが中心であると言えます。なお、特殊なものとしては、鬼怒川の船運に関したものなどがありました。

(1) 五穀豊穡に関するもの

○神明宮（徳次郎町：B-2）

徳次郎町田中の旧日光街道近くにある神明宮は、「おしんめさま」とも呼ばれ、五穀豊穡の神様として信仰されています。

毎年11月15日が祭日で、赤飯や甘酒を供え、絵馬を奉納します。かつては県外からも信仰者があったそうですが、現在は地区内の人々が中心となっています。

なお、この神社は、吉凶を占う狛犬がいることでも知られています。



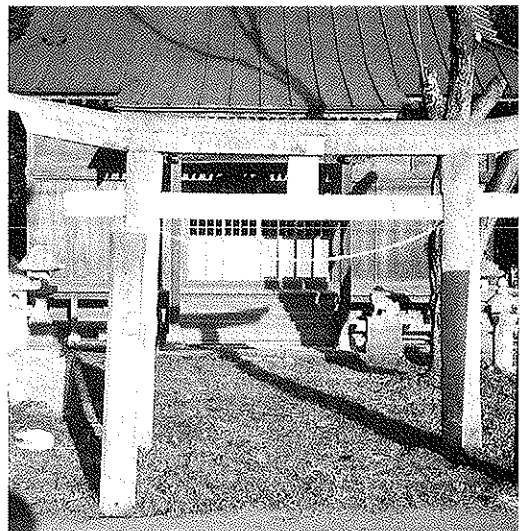
徳次郎町の神明宮

○藤岡六所神社（宝木本町：B-7）

宝木本町の日光街道近くにあるこの神社は、五穀豊穡・家内安全に靈験があるとして信仰されています。

毎年11月23日が祭日で、魚・野菜・穀物等等を供えて、五穀豊穡が祈願されます。

この神社の信仰は、主に藤岡町内の人々が中心となっています。



藤岡六所神社

○日枝神社（新里町：B-9）

宗門獅子舞（宇都宮市指定文化財）の奉納でもよく知られている新里町の日枝神社は、古くから農作物の神様として信仰されています。

祭日は毎年3月4日と11月10日の春秋2回で、野菜や穀物がお供えされます。信仰者は、新里地区のほぼ全域から集まると言われています。

なお、毎年8月に奉納される宗門獅子舞は、雄獅子2匹と雌獅子1匹からなる3人立ちで、腹に付けた小さな太鼓を打ち鳴らしながら踊ります。



日枝神社

○野尻長坂の天祭（下荒針町：B-12）

明保小学校の校庭で行なわれているこの天祭は、五穀豊穰と家内安全を祈願する祭りとして古くから信仰されています。

祭日は毎年8月のお盆の時期に行なう決まりとなっていますが、現在は申し合わせにより3年おきとなっています。祭りでは、琴平神社に保管している天棚が校庭に組まれ、お神酒・餅・作物などが供えられ、千度がけが繰り返し行なわれます。

このような天祭は、かつては市内どの地区でも行なわれていましたが、現在は数えるほどとなっています。



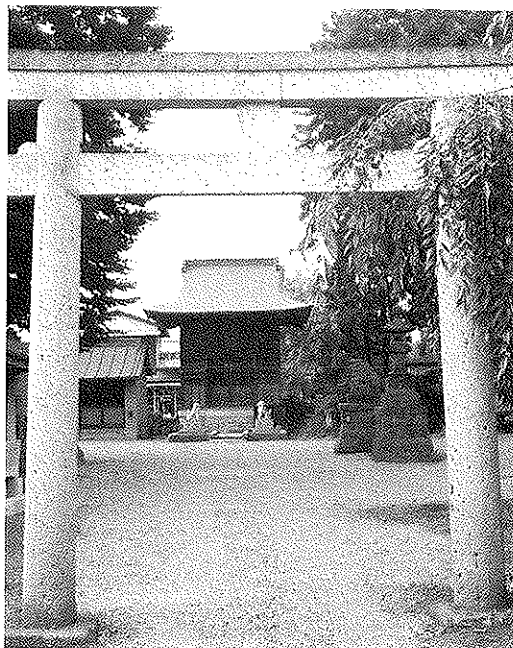
野尻長坂の天棚

○高麗神社（築瀬町：B—15）

築瀬町の田川近くにあるこの神社は、五穀豊穡に霊験があることで信仰されています。

毎年11月28・29日が祭日で、地元では「秋の九日祭」と呼ばれています。祭りを盛大に行なうと豊作になると言われ、お囃子や太々神楽を奉納したり、二荒山神社の宮司を呼んで祈祷したりします。

現在は地域の農家中心の祭りとなっていますが、かつては広範囲の人々が集まり、露天商が出て賑わったと言われています。



築瀬町の高麗神社

○庚申様（柳田町：B—16）

柳田町の水産試験場近くには、かつて庚申様と呼ばれる祠があり、五穀豊穡に霊験のある神様として信仰されていました。

毎年春と秋のお祭りでは、餅・お神酒などが供えられ、豊作が祈願されました。また、毎月庚申の日にもお参りされていました。

なおこの庚申様は、柳田地区が開墾されたところに祀られたものとみられますが、平成12年、土地改良により移転を余儀なくされ、現在は地元の個人宅に祠だけが移されています。



柳田町の庚申様

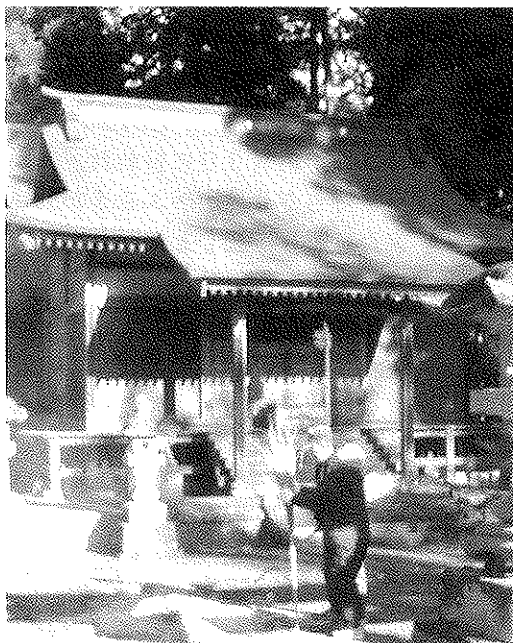
(2) 雨乞いに関するもの

○高麗神社（石那田町：B-19）

石那田町岡坪地区にあるこの神社は、弓削道鏡にまつわる雨乞い祈願の神様として信仰されています。

伝説によれば、下野国に流された道鏡が、男体山に参拝に行く途中、この岡坪の地に来たところ、大変な干ばつで農民が苦しんでいました。これを見た道鏡は、近くを流れる田川の竜神に一心不乱に祈り続けたところ、2日間にわたる大雨となり、農民を救ったと言います。農民たちは道鏡を慕うと共に、この竜神を高麗神社に合祀し末永く崇敬したということです。

祭日は1月と9月にあり、甘酒などが供えられます。



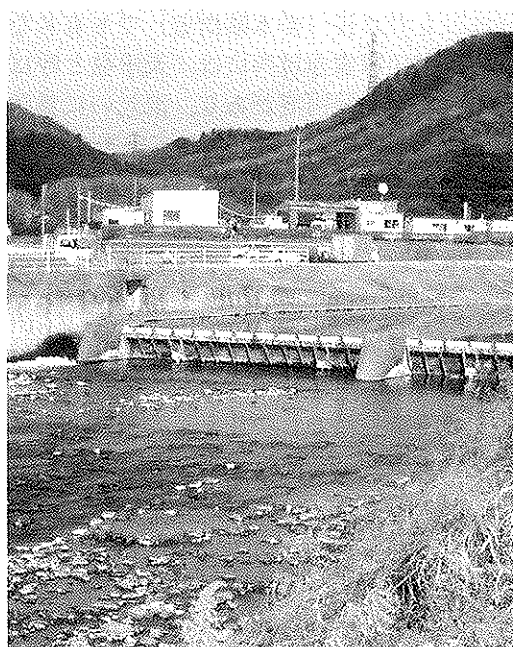
石那田町の高麗神社

○かっつぶち（徳次郎町：B-21）

徳次郎城跡の東側を流れる田川には、「かっつぶち」（かっつば測）と呼ばれる河童伝説に因んだ雨乞い場がありました。

現在は行なわれていませんが、干ばつになると、この「かっつぶち」に丸太の櫓を組み、その上に土地の顔役が天狗の姿になって乗り、これを担いだ若衆が、深水でわざと櫓を手放し、天狗をおぼれさせ、降雨を祈願したといわれています。

戦前には何回も行なわれ、雨を降らせたといわれています。



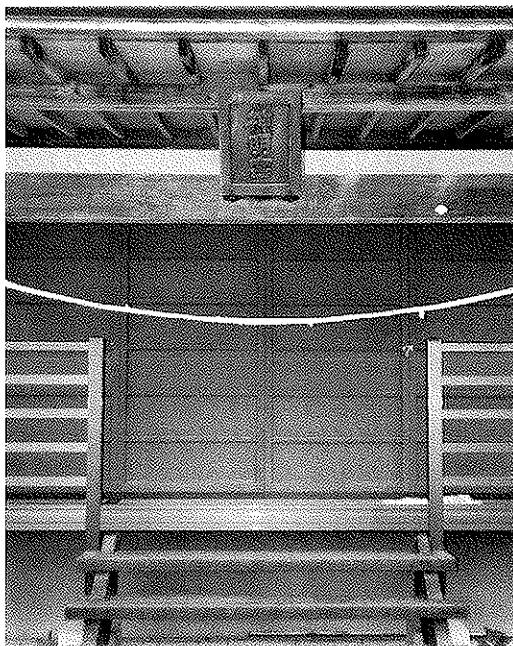
かっつぶち

○神明宮（宝木1丁目：B-25）

宝木1丁目の公園近くにあるこの神明宮は、雨乞いに靈験がある神様として、近在一帯の農家から信仰されています。

祭礼は毎年11月3日に行われ、各々ご馳走を持ち寄り甘酒がふるまわれます。また日照りが続くと、平井町の雷電神社の水をもらい受け、それを奉納して雨呼びをされると言われます。

なお、風除けにも靈験があり、毎年二百十日前後には風祭りを行い、豊作が祈願されます。



宝木1丁目の神明宮

○天子塚（東戸祭1丁目：B-26）

しだれ桜（栃木県指定）でも有名な戸祭山祥雲寺境内には、天子塚と呼ばれる前方後円墳があり、雨乞いに靈験がある塚として信仰されています。

伝説では、二荒の神（二荒山神社）を父とし雷の神（雷神社）を母として生まれたとされ、天子塚という名もここからきています。

この塚は別名「雨子塚」とも書かれますが、干ばつが続いた時は、境内にある竜神様でお祭りをして後、この塚の上を2～3回鍬で掘ると、かならず雨が降ると言われています。



天子塚

(3) 嵐・雷除けに関するもの

○雷電神社（上横倉町：B-28）

上横倉町の雷電山山頂にあるこの神社は、雷除けに靈験があることで広く信仰されています。

山頂の本殿は徳次郎石製で、山麓の参道入口には鳥居があります。祭礼は毎年7月15日に行われ、町内の人々が本殿に酒・米・野菜などを供えて雷除けを祈願します。

この辺りは大峰山・毘沙門山・高座山その他の山々が並び、夏場は雷が多く、落雷で苦しみました。そこで村人がこの山に雷電神社を祀って、雷除けを願ったと伝えられています。



上横倉の雷電神社

○湯殿山権現神社（道場宿町：B-33）

道場宿町の柳田街道沿いにあるこの神社は、嵐・雷・台風除けの神様として信仰されています。

この辺りは昔から嵐や雷の通り道となっていたため、人々は大変悩まされました。そこでこの地に嵐除けの神社を祭り、平安無事を祈ったと伝えられています。

祭礼は毎年12月の第1日曜日に行われ、大乘寺住職が読経を奉納するとともに、餅・野菜・果物・鯉などが供えられます。また、子ども相撲も奉納され、大変にぎわいます。



湯殿山権現神社

(4) その他の生業に関するもの

○馬頭観音（上桑島町：B-36）

上桑島町岡の内の路傍には、馬の健康安全を祈願した馬頭観音が祀られています。

かつては上桑島町全体で信仰されていましたが、現在は岡の内地区の世話人が中心となって、赤飯などが供えられる程度になっています。

農業が機械化されるまでは、牛馬が農耕の主力でした。その健康を願いどの村々でもこのような馬頭観音が祀られ、盛んに信仰されていたようですが、現在は路傍の石碑だけが、ひっそりと往時を物語っているだけになっています。



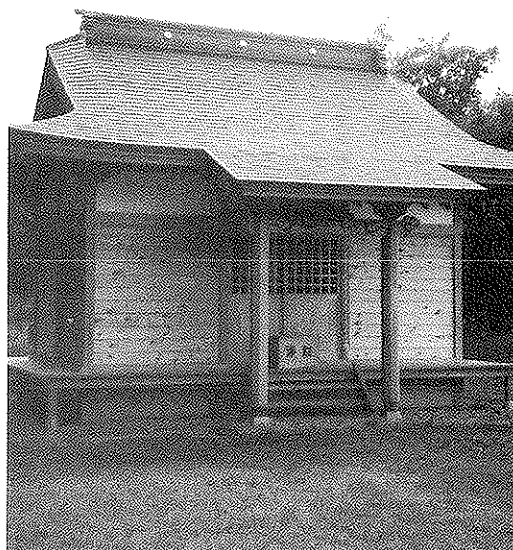
上桑島町の馬頭観音

○太子堂（長岡町：B-39）

長岡町の外環状線の南側にあるこのお堂は、商売繁盛の神様として市内各所の人々から信仰されています。

祭礼は毎年2月11日で、さまざまな供物を供えて商売繁盛や家内安全を祈願します。また、お太子様のご開帳は33年に1回で、その時は祥雲寺ほか数名の僧侶が来て、供養することになっていると言います。

なお、商売繁盛の神様としては、城山地区の多気不動尊（B-40）が有名です。



長岡町の太子堂

○船玉神社（板戸町：B—43）

板戸町の鬼怒川河畔にあるこの神社は、「船玉様」とも呼ばれ、船運の安全祈願の神様として古くから信仰されている。

江戸時代、この辺りは鬼怒川水運の板戸河岸があったところで、この神社は舟の安全航行・江戸往来の無事を祈って祀られたものです。

毎年4月13日が祭礼で、板戸町内の人々が集まり、大きな餅の重ねを奉納して、河川被害を無くするよう祈るとされます。



船玉神社

3 安産・子育てに関するもの

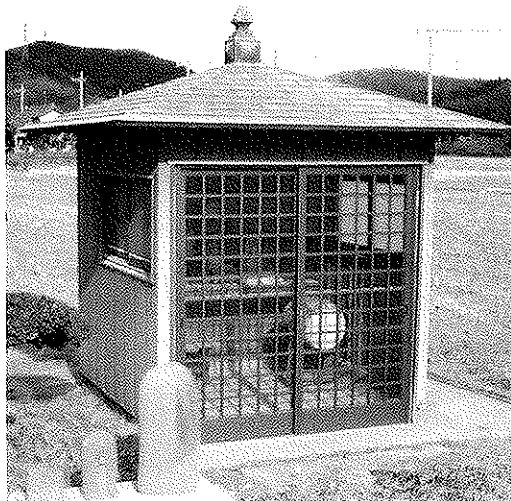
この安産・子育てに関する民間信仰は、病気治癒や生業に関するものを除いた中では最も多いものであり、調査件数は30件を超えていました。具体的には安産又は子育てに関するものが大半で、他に子授け・母乳・夜泣きなど特殊のものも見られましたが、内容的に共通性が高いところから、小分類はせずに一括でまとめました。

○さんから地蔵（上金井町：C—1）

上金井町の福田氏宅（上金井町335）にあるこの地蔵は、「産軽地蔵」とも言われ、安産に靈験があることで信仰されています。

お産の時には、このお堂内にある腹掛けを借りてきて自分の腹に巻き、無事お産がすんだ時には、新しく腹掛けを作って奉納することになっています。

毎月24日が縁日で、昔は富屋地区内の人々がお堂に集まり、太鼓をたたきながらお祈りしたと言われています。



さんから地蔵堂

○六地藏（駒生町：C-5）

駒生町の鏡川沿いにあるこの六地藏は、安産・子育てに靈験があることで、古くから信仰されています。

安産や子供の無事成長を祈願し、それがかなった時には地藏様に赤い帽子と腹掛けを奉納してお礼することになっています。また、お祭りの時に使用したローソクが、出産の時間だという伝承があります。

毎年10月24日が祭日で、だんごや野菜を供え、念仏を唱えながらお参りしますが、昔は駒生地区全域の人々が集まり、大変賑わったと言われます。



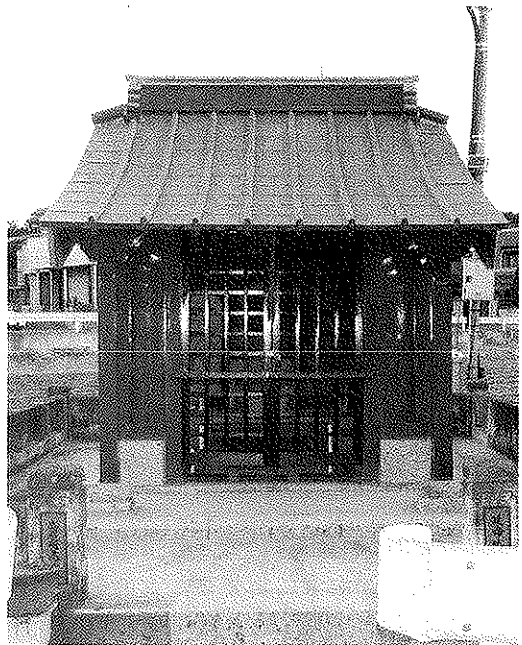
駒生町の六地藏堂

○延命地藏（大谷町：C-6）

大谷町立岩にあるこの地藏尊は、安産・子育てに靈験があることで信仰されています。

江戸時代の中頃、この立岩地区で疫病のため多くの嬰児が亡くなったことがあり、その時村人たちがこの地藏尊を祀り、無病息災を祈願したと伝えられています。

毎年8月24日が祭日で、野菜や団子を供え、子どもたちにはお菓子、大人にはお酒がふるまわれます。また、他の地区からもお参りに来る人があるとされます。



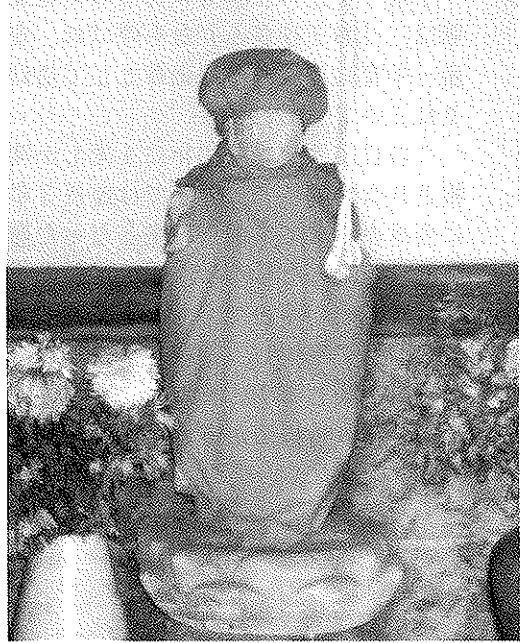
延命地藏堂

○子育て地藏堂（西川田町：C-7）

西川田町黒木橋にあるこの地藏堂には、本尊を含めて10体ほどの地藏尊が祀られており、安産・子育てに靈験があるものとして信仰されています。

祭日は旧の2月24日と8月24日の年2回で、粉餅が供えられます。また妊婦が、ローソクを供えて火を消したものをもち帰り、このローソクに火をともしてお産をすると、明かりが消えるまでにお産ができると言われています。

なお、それぞれの地藏尊には、赤い帽子やよだれかけが掛けられています。



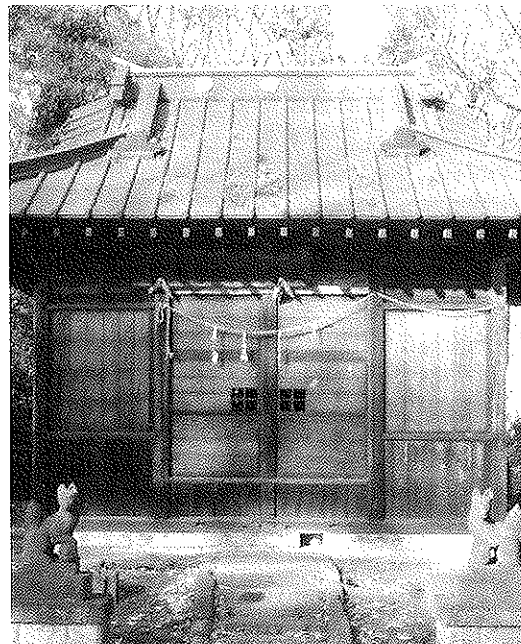
子育て地藏

○安産稲荷神社（兵庫塚町：C-8）

兵庫塚町にあるこの稲荷神社は、通称「安産稲荷」と呼ばれ、安産・子育てに靈験あらたかな神社として広く信仰されています。

言い伝えによれば、下野守宇都宮城主国綱の妾梅の方が難産のとき、この神社に祈願したところ玉のような男子を無事出産したことから、世人からもあがめられるようになったとされています。

祭日は旧暦二月の初午と9月13日で、かつては近郷近在から大勢の人々がお参りにきて、大変にぎわったと言われています。



安産稲荷神社

○日限地藏尊（小幡町：C-14）

小幡一丁目の宝勝寺にあるこの地藏尊は、「お三夜さん」とも呼ばれ、安産・子育てに靈驗ある地藏尊として信仰されています。

この日限地藏尊は50年に1度しか開帳されない秘仏で、寺伝では慶長3年に会津から来て宇都宮城主となった蒲生秀行が祀ったものとされています。

毎月23日が縁日で、ちょうちんに名前を記して奉納し、安産や子供の無事成長を祈願します。また、受けたお札の細い割り竹に節があると男児が生まれると言われていています。



日限地藏尊

○御室の観音さん（南大通り：C-16）

南大通り1丁目の善願寺には、通称「御室の観音さん」と呼ばれる御室如意輪観世音菩薩がありますが、安産・子宝に靈驗があるとして広く信仰されています。

母親が観音さんからお米をいただき、これを粥にして食べると母乳がよく出るようになり、そのお礼にお米を倍にして供えることになっています。

毎月18日が縁日で、正月・5月・8月・9月の大縁日には護摩がたかれ、遠方からも多くの信者が集まると言われます。



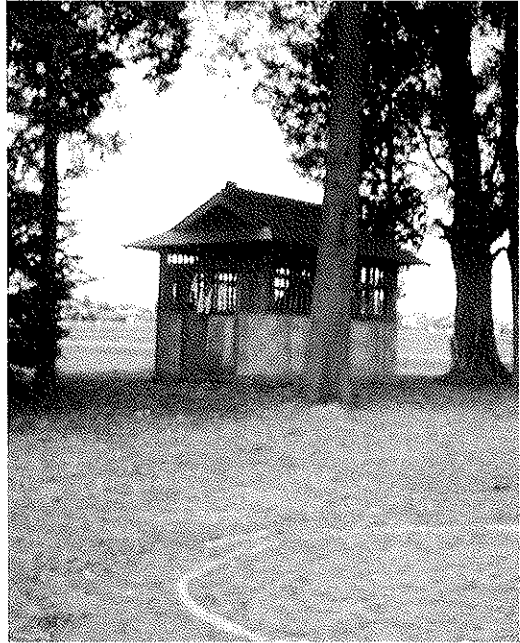
御室の観音堂

○金井稲荷（柳田町：C-17）

柳田町の鬼怒川沿いにあるこの稲荷は、子供たちの無事成長を祈願した子供相撲が奉納されることで信仰を集めている。

祭日は毎年10月10日で、神式によって供物を供え、神官による祝詞があげられる。その後、境内に土俵を作り、子供たちに相撲をとらせ、餅を与えることになっています。昔は大勢の子供が集まりましたが、最近では替わりに大人がやることもあるそうです。

なお、この稲荷は、江戸時代の後半頃に、京都伏見稲荷大明神を分霊したものと伝えられています。



金井稲荷

○十九夜様（柳田町：C-18）

柳田町柳光寺にあるこの十九夜様は、安産の神様として地域の間で信仰されている。

祭日は旧暦の2月19日で、当番宅で供餅やご馳走を作って集まった人々に振る舞い、その後皆でお寺にお参りすることになっています。

このお祭りは、昔は若いお嫁さんたちにとって楽しみの一時でしたが、現在は病院でお産をするようになったことから、本来の意味合いはかなり薄れてきてしまったようです。



柳田町の十九夜様

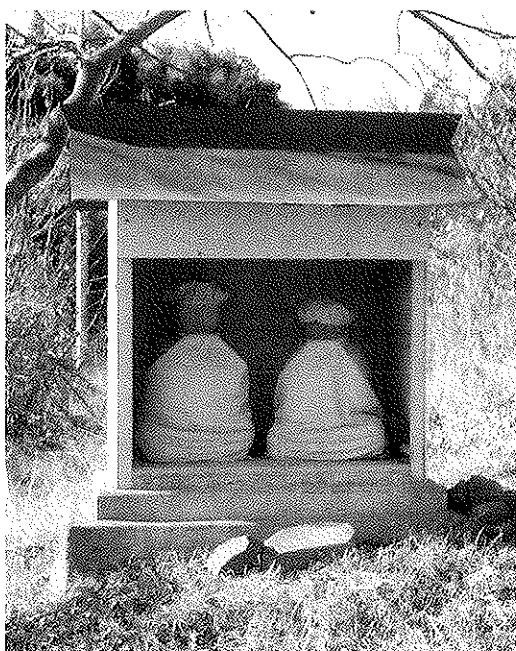
○地藏さん（刈沼町：C-23）

刈沼町の公民館にあるこの地藏さんは、安産に靈験があることで、地区の人々から信仰されています。

この地藏さんに触るだけで無事出産ができると言われ、赤い帽子やよだれかけが奉納されます。

毎年2月24日と8月24日が祭日で、地区内の女性が当番となり、色々なご馳走を作って奉納します。

なお、この地藏さんの由来は定かではありませんが、芳賀町延生の地藏さんの姉さんにあたると伝えられています。



刈沼町地藏さん

○十九夜様（駒生町：C-29）

駒生町西中丸公民館の脇にあるこの十九夜様は、子授け・安産さらには下の病に靈験があることで、地域の人々から信仰されています。

この十九夜様は、明治5年に、当地の世話人により真夜中に祈願建立されたものと伝えられ、子授けを祈願するときには、人に見られぬように真夜中に詣でて石碑を抱きかかえたとされている。

なお信仰は駒生地区の人々が中心で、縁日には当番の家でご馳走を作ってお供えしています。



駒生町の十九夜様

○朝日観音（本町：C-31）

本町光明寺にあるこの観音様は、子授け・子育てに靈験あらたかな観音様として広く信仰されています。

この観音様は、元々は宇都宮氏の菩提寺である東勝寺の本尊でしたが、廃寺になった後、この光明寺に移されたものと伝えられています。

江戸時代中頃、鏡が池のほとりに仲のいい夫婦がいましたが、子供がないために毎日この観音様にお参りしたところ、男の子が授かりました。ところが間もなく母親が亡くなり、夜泣きで困った父親が朝に夕に祈願したところ、自分の乳から母乳が出て、無事育てることができたと伝えられています。



朝日観音堂

○夜泣き稲荷（西刑部町：C-32）

西刑部町成願寺の南西約300mの山林中にあるこの稲荷は、子供の夜泣き止めに靈験あらたかな神様として広く信仰されています。

夜泣き止めに祈願するときは、この祠の小石を1個借受け、願いが叶ったらお礼の意味で倍にして返すことになっていると言われ、祠内には小石の山ができています。

かつてはお参りする人が大変多く、かなり遠方からも訪れたと言われています。



夜泣き稲荷

4 祈願に関するもの

ここでは、祈願に係わる様々な民間信仰を一まとめにしました。今回の調査では約30件が確認されましたが、中でも防火・学業に関するものは多く、合わせると全体の半数近くを占めていました。

(1) 防火に関するもの

○秋葉神社（徳次郎町：D-1）

徳次郎町上町にあるこの神社は、防火の神様として地域の人々から信仰されています。

この神社は、明治時代に山王神社・琴平神社・愛宕神社を合祀したのですが、現在は毎年11月23日が祭日で、神官を呼んでお稲荷様に弊束を奉納し、甘酒祭りを行なっています。



秋葉神社参道

○熱木不動尊（西原町：D-5）

旧日光街道沿いの熱木町内にあるこの不動尊は、防火に靈験あらたかな不動尊として信仰されています。

祭日は1月28日・5月28日・9月28日の年3回ですが、1月28日の祭礼には多気山持室院の住職が来て護摩が焚かれます。また、お酒やご馳走が供えられ、参拝者にふるまわれます。

なお、この不動尊は、正しくは熱木持室院不動尊といい、宇都宮宗門が奥州征伐の戦勝祈願をする時に作らせた仏像のうちの一尊であると伝えられています。

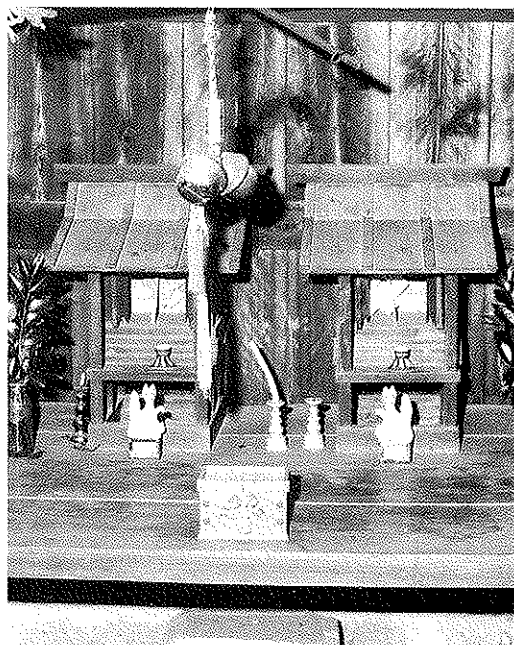


熱木不動尊

○長柄稲荷（栄町：D-7）

栄町付近は、江戸時代、小門町と呼ばれていましたが、ここにある長柄稲荷はヘビを祀った神社で、古くから火伏せの神様として信仰されています。

明治時代のはじめごろ、小門町に山口宇堂という尺八の師匠がいましたが、ある時この師匠の尺八の音に誘われて毎夜のように白ヘビが現れるようになったため、気味悪がってとうとう殺してしまいました。ところが間もなくこれが原因で町が大火になったことから、人々はヘビを祀って火伏せを祈願するようになったと伝えられています。



長柄稲荷

(2) 学業に関するもの

○菅原神社（天神町：D-9）

天神2丁目にあるこの神社は、古くは中河原天神社とも呼ばれ、学問と進学の神様として信仰されています。

同じ菅原神社は旧日光街道沿いの蓬萊町（D-8）にもありますが、これは宗円が宇都宮城を築いた際に、城の東西の守護神として祀ったものと伝えられています。

この神社は町名の起こりにもなった神社で、かつては多くの祈願者で賑わいましたが、現在は年4回の例祭と勸学祭がひっそりと行なわれているといわれています。



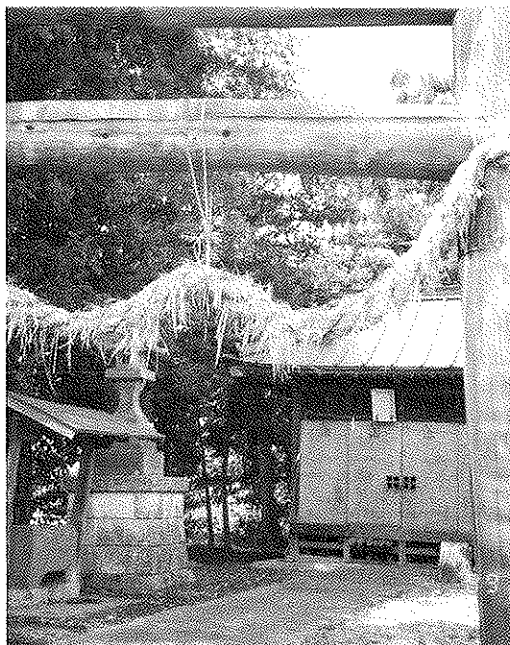
天神町の菅原神社

○天満宮（西刑部町：D-10）

西刑部町の中坪公民館のそばにあるこの天満宮は、学問の神様として信仰されています。

毎年縁日には赤飯が供えられ、絵画や書道が奉納されます。かつては受験や進学の手帳になると大勢の祈願者で賑わいましたが、現在は西刑部町内の人々によってひっそりと守り伝えられています。

なお天満宮は菅原道真公をまつる神社として全国にあります。太宰府天満宮・北野天満宮などが有名で、学業成就や合格祈願の神様として広く信仰されています。



西刑部町の天満宮

○広琳寺の文殊菩薩（D-13）

平出町広琳寺にある木造文殊菩薩立像（市指定文化財）は、学業成就に靈験のある菩薩として広く信仰されています。

「三人寄れば文殊の智恵」ということわざがあるように、文殊菩薩は智恵や戒律をつかさどる仏様といわれています。この仏像は、江戸時代に寄木法によって製作されたものですが、その後、学業成就等を願う多くの人々から崇敬を受けるようになり、学問の仏様として広く信仰されるようになったものとされます。



文殊菩薩堂

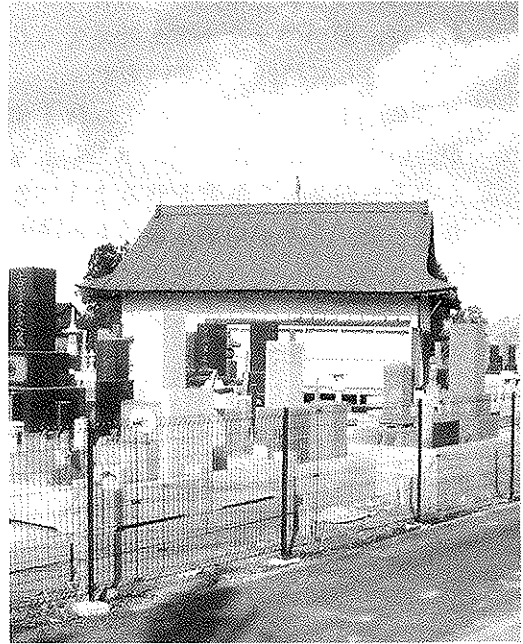
(3) その他の祈願に関するもの

○百万遍（柳田町：D-14）

柳田町の柳光寺に伝わるこの念仏講は、極楽往生や厄病除けに靈験ある行事として信仰されています。

毎年旧暦の2月8日が祭日で、講に入っている村内の老婦人たちがお寺に集まり、大きな数珠を回し送りながら念仏を唱え、これを百遍（ひゃっぺん）繰り返すものです。特に供物はありませんが、線香は絶やさずあげることになっています。

下柳田地区では、60歳以上の婦人が講員となり、この行事を守り続けています。



柳光寺

○男抱山（徳次郎町：D-16）

徳次郎町西根地区の西側にそびえるこの山は、地元の人々から「おただきさん」と呼ばれ、縁結びの神様として信仰されています。

江戸時代、妻子ある男性と恋に落ちた娘が、ふとしたことからすれ違いとなり、とうとうこの山の露と消えました。これに同情した村人たちが、娘を丁寧に弔ったところ、縁結びの山として訪れる人が増えたと伝えられます。

地元では、娘が密かに山頂に詣で、かなわぬ想いの男性の方面を望んで祈ると、不思議とその思いが届くと言われています。



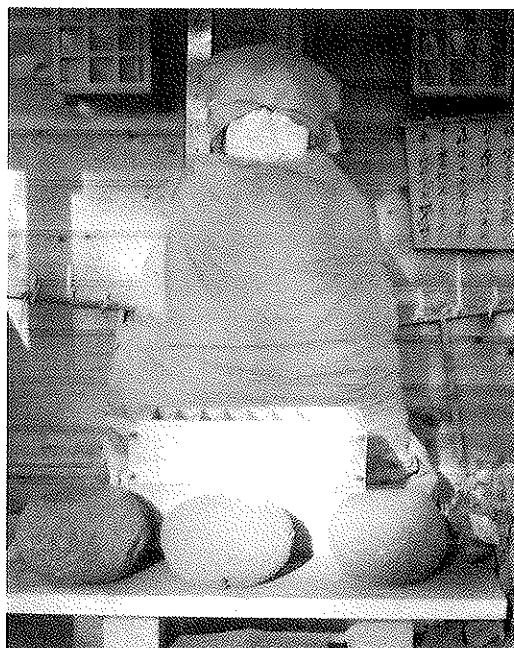
男抱山

○うらない仏（石那田町：D-19）

石那田町の日光街道沿いにあるこの石仏は、願い事をなんでも叶えてくれる仏様として信仰されています。

この石仏は地藏菩薩と思われますが、いつの頃からか台座にまんじゅう形の玉石が2～3個置かれるようになりました。人々が何事か願いをかけた後、この石のいずれかを手に持って、それが軽く感じたときには願いが叶うといわれています。

このようなことから、地元の人々は、古くからこの石仏を「うらない仏」またこの玉石を「うらない石」と呼んで、大切に信仰してきました。



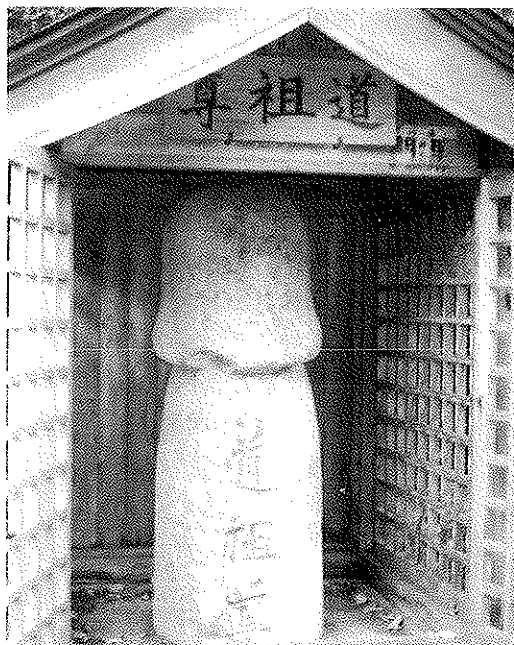
うらない仏

○鞍掛峠の道祖神（新里町：D-22）

新里町から今市市猪倉にぬける鞍掛峠の路傍にあるこの道祖神は、村に入る疫病や悪霊を防いだり、旅人の安全などに霊験ある神様として信仰されています。

この道祖神は高さ1.6m・直径50cmの巨大なもので、かつては峠の切り通しの所に、異様な格好で露呈していましたが、今は祠の中に静かに収まっています。

このような道祖神は、市内にもいくつかみられますが、この鞍掛峠のものはひときは立派で、人々からも厚く信仰されています。



鞍掛峠の道祖神

○首切地蔵（岩曾町：D-24）

岩曾町の白沢街道沿いにあるこの地蔵は、無病息災・商売繁盛から結婚・安産まで幅広く靈験があるものとして信仰されています。

毎月24日が縁日で、かつては近郷近在から大勢の人が集まって、念仏を唱えて線香を上げ、絵馬なども奉納したと言われます。

なお、地蔵堂のそばには「根来塚」と呼ばれる塚がありますが、ここは江戸時代の処刑場で、釣天井事件に係わった根来衆が、多数処刑され埋められたと伝えられています。



首切地蔵

○男体山碑（駒生町：D-37）

駒生町中丸にあるこの碑は、男体山山開きに備えた修験の場として信仰されています。

男体山山開き前の7日間、この石碑前で焚火をともし、籠り、登山に備えて修行したとされます。また毎年8月1日の山開きには、村々で講を作り、白装束ワラジ履きで二荒山神社の奥の社に参拝し、家内安全・健康等を祈願しながらご来光を拝むということです。

このような男体山講は、市内でもかつてはかなり盛んだったと言われています。



駒生町の男体山碑

Ⅲ 参 考 資 料

宇都宮の民間信仰調査一覧

(1) 病気治癒に関するもの

No	名 称	所在地	分類	特記事項
A-1	八坂神社	石那田町	眼病	湧き水で目洗う
A-2	下町薬師堂	徳次郎	眼病	花祭り 甘茶で目洗う
A-3	薬師堂	新里町	眼病	めの額をあげる
A-4	薬師様	宝木本町	眼病	
A-5	薬師堂	下川俣町 光性寺	眼病	めの額をあげる
A-6	薬師堂	鷺谷町	眼病	めの額をあげる
A-7	子育て地藏堂	西川田町	眼病	安産
A-8	めの神	駒生町	眼病	めの半紙
A-9	めの神	駒生町	眼病	めの半紙
A-10	薬師堂	鶴田町	眼病	眼病
A-11	八幡宮	鶴田町	眼病	泉の水（今はかれた）
A-12	薬師堂（あかんどう）	材木町 安養寺	眼病	
A-13	薬師堂	針ヶ谷町	眼病	甘茶・絵馬
A-14	薬師堂	中島町	眼病	穴のある小石・絵馬
A-15	薬師堂	羽牛田町	眼病	
A-16	成田不動様	鑑山町	眼病	甘酒
A-17	薬師堂	満美穴町	眼病	
A-18	橋くぐり地藏尊	新里町 栗谷入	流行病	ハシカ・石ひろう
A-19	大杉様	宝木本町	流行病	甘酒
A-20	愛宕神社	新里町	流行病	
A-21	星の宮神社	上欠町	流行病	ハシカ
A-22	お勝天王	下欠町 星宮神社	流行病	チフス・赤痢など
A-23	大杉神社	下砥上町砥上神社	流行病	御輿・天狗
A-24	八日市場不動尊	駅前通り	流行病	護摩札
A-25	薬師様	鑑山町 公民館	流行病	

A-26	瘧地蔵	徳次郎町中町公民館	アザ・イボ	よだれかけ
A-27	いはとり地蔵	瓦谷町 万松寺	イボ	
A-28	三日月神社	石井町	アザ・イボ	木綿生地, 小石, 豆腐
A-29	金毘羅様	徳次郎町	厄除け	みこし
A-30	一萬灯会	宮町 能延寺	厄除け	とうもろこし
A-31	厄よけ念仏	満美穴町	厄除け	四方かため念仏
A-32	八目念仏	板戸町	厄除け	四方に笹竹
A-33	にわとり様	上欠町	百日咳	
A-34	鷓峰神社	峰町	百日咳	
A-35	にわとり権現様	駒生町	百日咳	一升米で団子
A-36	十九夜さん	飯田町	婦人病	
A-37	十九夜様	駒生町	婦人病	
A-38	十九夜観音堂	鶴田町	婦人病	餅
A-39	八幡宮	鶴田町	痔	赤い旗・ほうろく
A-40	如意輪観音	駒生町	歯通	米・塩・鰹節
A-41	初音観音	延命院	頭痛	お墓
A-42	足尾権現	田下町・持宝院	足痛・腰痛	はきもの奉納
A-43	どうろく神	上徳次郎町	性病	豆腐
A-44	大日如来権現	篠井町	諸病	
A-45	帝釈様	大網町	諸病	
A-46	地蔵尊	田野町	諸病	
A-47	お大師さま	竹林町 宝蓮院	諸病	
A-48	びんずる様	小幡町	諸病	さわる
A-49	大満虚空蔵尊	築瀬町	諸病	

(2) 生業に関するもの

No	名称	所在地	分類	特記事項
B-1	湯殿神社	上金井町	五穀豊穡	植林用苗の育成・おはやし
B-2	神明宮	徳次郎町	五穀豊穡	おしんめさま
B-3	おくにち	徳次郎町	五穀豊穡	赤岡稲荷
B-4	庚申様	上金井町	五穀豊穡	掛け軸

B-5	宝国神社	宝木本町	五穀豊穣	天王様？
B-6	庚申様	新里町	五穀豊穣	掛け軸
B-7	藤岡六所神社	宝木本町	五穀豊穣	
B-8	庚申様	新里町	五穀豊穣	神郷講中
B-9	日枝神社	新里町	五穀豊穣	獅子舞奉納
B-10	岩原神社	岩原町	五穀豊穣	
B-11	琴平神社	新里町	五穀豊穣	愛宕神社
B-12	野尻長坂の天祭	下荒針町・琴平神社	五穀豊穣	3年に一回
B-13	田下の天祭	田下町	五穀豊穣	多気不動
B-14	庚申祭	竹林町・宝蓮院	五穀豊穣？	農家の婦人の集い
B-15	高麗神社	築瀬町	五穀豊穣	二荒山神社，神楽奉納
B-16	庚申様	柳田町	五穀豊穣	平成元年菊地家内に移転
B-17	高?神社	竹下町	五穀豊穣	農家の神様
B-18	庚申神	鋸山町	五穀豊穣	昭和3年設立？
B-19	高麗神社	石那田町	雨乞い	田川の竜神
B-20	愛宕山	飯山町	雨乞い	山にのぼり
B-21	かつとぶち	徳次郎町	雨乞い	徳次郎城・かつぱぶち
B-22	水神様	徳次郎町	雨乞い	宝木堀・二宮堰
B-23	高麗神社	駒生町	雨乞い	雨の祭神
B-24	多度神社	上欠町	雨乞い	水神様
B-25	神明宮	宝木町	雨乞い	嵐よけ
B-26	天子塚	昭和町・祥雲寺	雨乞い	雨子塚・古墳
B-27	富士山神社	今泉町	雨乞い	
B-28	雷電神社	上横倉町	嵐・雷除け	雷電山頂
B-29	鞍掛神社	新里町	嵐・雷除け	鞍掛山
B-30	雷神社	塙田町	嵐・雷除け	古墳
B-31	雷電神社	石井町	嵐・雷除け	
B-32	雷電神社	平出町	嵐・雷除け	
B-33	湯殿山権現神社	道場宿町	嵐・雷除け	大乘寺
B-34	馬頭観音	下川俣町	家畜・馬	馬をつれてお参り
B-35	馬頭観音	駒生町西中丸公民館	家畜・馬	

B-36	馬頭観音	上桑島	家畜・馬	赤飯
B-37	馬頭観音	満美穴町	家畜・牛馬	
B-38	毘沙門神社	大網町	商売繁盛	昔は商人もきた
B-39	太子堂	長岡町	商売繁盛	33年に一回開帳
B-40	多気不動尊	田下町	商売繁盛	多気城
B-41	金精神	西川田町	商売繁盛	個人的？
B-42	生馬神・馬力神	鶴田町	軍馬	日露戦争慰霊
B-43	船玉神社	板戸町	船運	鬼怒川板戸河岸

(3) 安産・子育てに関するもの

No	名称	所在地	分類	特記事項
C-1	さんから地蔵	上金井町	安産	腹掛け奉納・産婦さんかる)
C-2	お産念仏講	徳次郎町	安産	家を回って念仏
C-3	地蔵堂	新里町	安産・子育て	甘酒
C-4	岩本地蔵	新里町	安産	赤い帽子と腹掛け
C-5	六地蔵	駒生町	安産・子育て	帽子、腹掛け奉納
C-6	延命地蔵	大谷町	安産・子育て	
C-7	子育て地蔵堂	西川田町	安産	ローソク
C-8	安産稲荷神社	兵庫塚町	安産・子育て	稲荷神社
C-9	南無地蔵大菩薩	下砥上町	子育て	
C-10	子育て地蔵尊	寺町 清巖寺	安産・子育て	
C-11	十九夜さん	竹林町	安産・子育て	
C-12	山本観音堂	昭和町 祥雲寺	安産・子育て	
C-13	子育て地蔵	延命院	安産・子育て	
C-14	日限地蔵尊	小幡町	安産・子育て	
C-15	二十三夜	小幡町	安産	おさんやさん、ローソク
C-16	御室の観音さん	南大通り	安産	御室如意輪観世音菩薩
C-17	金井稲荷	柳田町	子育て	子ども相撲
C-18	十九夜様	柳田町 柳光寺	安産	
C-19	子育て観世音	竹下町 同慶寺	安産・子育て	可利帝母坐像
C-20	地蔵さん	野高谷町三島神社	安産	なでる 延生地蔵と姉妹

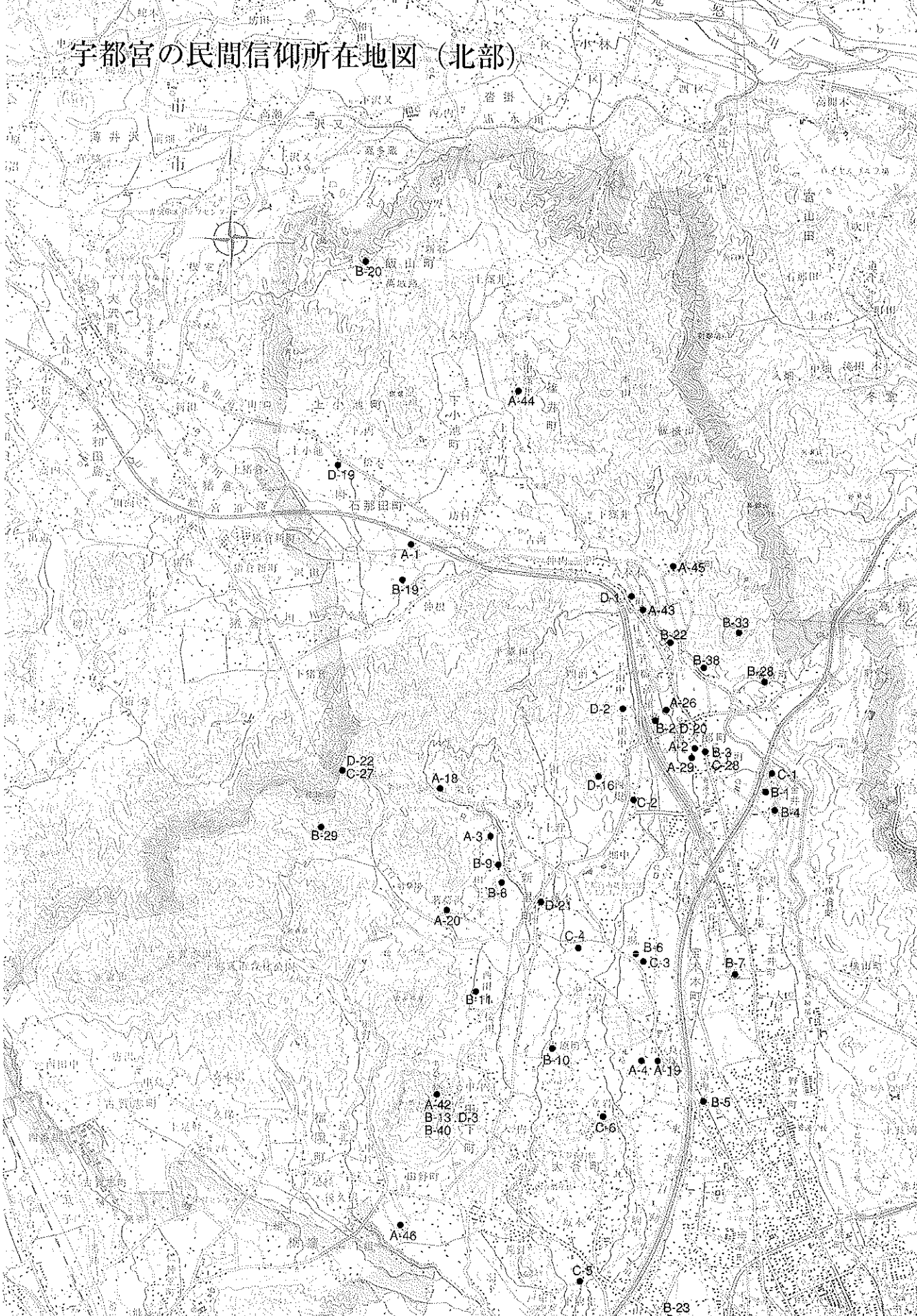
C-21	十九夜様	板戸町	安産	
C-22	十九夜さま	満美穴町	安産	念仏
C-23	地藏さん	刈沼町	安産	赤い帽子とよだれかけ
C-24	十九夜様	板戸町 宝泉寺	安産	
C-25	地藏尊	板戸町	安産	
C-26	地藏様	鎗山町	安産・子育て	穴のあいた石を奉納
C-27	道祖尊神	新里町	子授け	
C-28	地藏講	徳次郎町	子授け	掛け軸、ローソク
C-29	十九夜様	駒生町	子授け	石碑を抱く
C-30	甘酒地藏	今泉町 興禅寺	母乳	
C-31	朝日観音	本町 光明寺	母乳	
C-32	夜泣き稲荷	西刑部町	夜泣き	

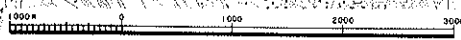
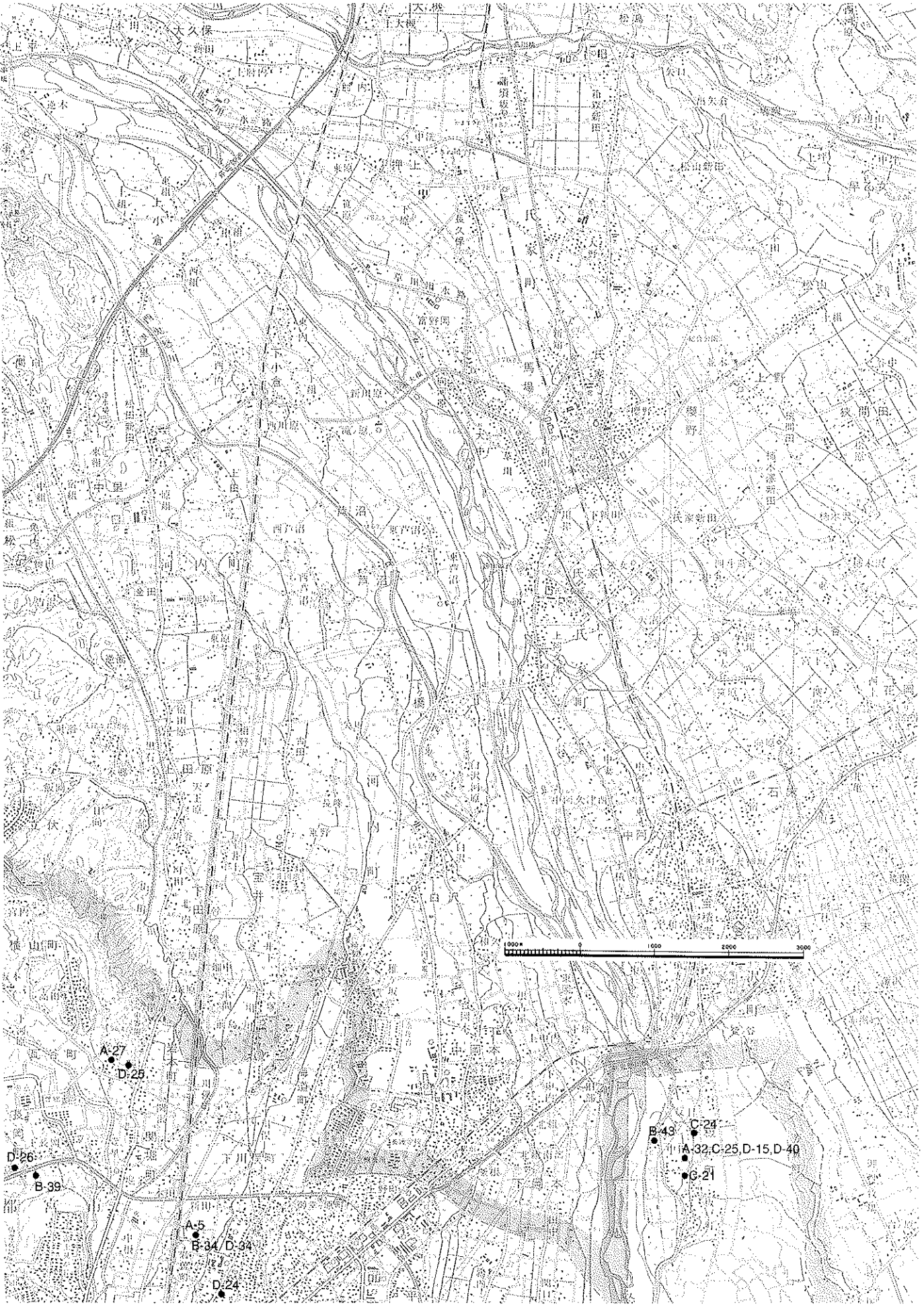
(4) 祈願に関するもの

No	名称	所在地	分類	特記事項
D-1	秋葉神社	上徳次郎町	防火	
D-2	愛宕神社	徳次郎町	防火	山越前山頂
D-3	多気不動尊	田下町	防火	
D-4	汗かき阿弥陀	一向寺	防火	
D-5	熱木不動尊	西原町	防火	多気不動尊
D-6	火防ぎ地藏	延命院	防火	
D-7	長柄稲荷	栄町	防火	へび長屋
D-8	菅原神社	西 蓬萊町	学業	宇都宮城の西の守護
D-9	菅原神社	天神町	学業	宇都宮城の東の守護
D-10	天満宮	西刑部町	学業	絵画・書道
D-11	菅原神社	台新田町	学業	
D-12	菅原神社	さるやま町	学業	
D-13	文殊菩薩	平出町 広琳寺	学業	
D-14	百万遍	柳田町 柳光寺	往生	大きな数珠
D-15	十九夜様	板戸町	往生	女小
D-16	男抱山	徳次郎町	縁結び	民話・山頂

D-17	稲荷神社	兵庫塚町	縁切り	安産稲荷
D-18	夫婦杉	平出町 雷電神社	縁結び	
D-19	うらない仏	篠井町	諸祈願	
D-20	神明宮の狛犬	徳次郎町	諸祈願	
D-21	藤本不動尊	新里町	諸祈願	
D-22	道祖神	新里町 鞍掛峠	諸祈願	
D-23	大杉神社	飯田町	諸祈願	
D-24	首切地藏	岩曾町	諸祈願	根来塚
D-25	平野神社	瓦谷町	諸祈願	神楽
D-26	百穴観音堂	長岡町	諸祈願	
D-27	成田不動	大通り 宝蔵寺	諸祈願	不動堂
D-28	北向甘酒地藏	西 報恩寺	諸祈願	甘酒
D-29	味噌地藏尊	塙田町 能延寺	諸祈願	味噌
D-30	大豆三粒の金仏	南大通り 善願寺	諸祈願	
D-31	稲荷神社	砂田町	諸祈願	針金奉納
D-32	薬師堂	下桑島町	諸祈願	穴のあいた小石
D-33	大峰山	徳次郎町	霊山	湧き水
D-34	念仏信仰	下川俣町	祖先信仰	
D-35	男体山碑	鶴田町		
D-36	お大師さま	仲町 生福寺	弘法大師	お砂ふみ
D-37	男体山碑	駒生町	修験信仰	山開き・六根清浄
D-38	法印塔	大通り 妙正寺	日蓮信仰	
D-39	灯笼流し	大通り 田川	水難・戦没	
D-40	弘法様	板戸町	仏滅	

宇都宮の民間信仰所在地図（北部）





A-27
D-25

D-26
B-39

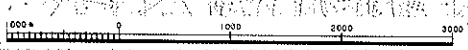
A-5
B-34/D-34

D-24

B-43
C-24
A-32, C-25, D-15, D-40
G-21



- C-12
- B-14
- A-47
- C-11
- D-24
- D-13
- B-32
- D-18
- C-17
- B-37
- C-23
- B-26
- D-29
- B-30
- A-31
- A-17
- C-22
- A-41
- C-13
- C-31
- A-30
- D-7
- D-38
- B-27
- C-30
- C-10
- D-27
- D-39
- D-36
- D-30
- A-24
- C-16
- D-9
- A-49
- B-15
- A-34
- C-18
- D-14
- B-16
- B-33
- C-20
- D-11
- B-17
- A-25
- C-26
- A-16
- B-18
- A-28
- B-31
- B-36
- D-12
- D-31
- C-32
- D-32
- A-14
- D-10
- A-15





文化財愛護
シンボルマーク

文化財シリーズ第13号